

選ぶ・歩む・拓く

私立高校・専修学校 一般入試に向けて

私立高校・専修学校の出願・試験が本格的に始まりました。面接練習に一生懸命取り組んだり、教え合いながら学習に取り組んだり、とてもよい雰囲気で大切な時期を迎えることができたのは本当に素晴らしいことです。また、出願も試験も、今のところ大きなトラブルはなく、順調に進んでいてほっとしています。



いよいよ、多くの方が受験する一般入試が迫ってきました。普段の力を出すためにも、健康で集中力をもって取り組めるようにしましょう。

- 受験票と一緒に受け取った資料があれば、必ず今からよく読んでおきましょう。
- 以下の学校は、直通のバスに乗って受験会場に行くことができます。
 - ・ 春日丘高校：東中学校の南門(校内側)に7時集合。移動→乗車。
 - ・ 栄徳高校：東中学校の西門(校内側)に7時30分集合→乗車。
 - ・ 中部大学第一高校：旭小学校東で乗車。7時40分発車。
- ※ 時間を厳守すること。乗降車は速やかに行うこと(乗ったら速やかに空いている席に座ること)。乗車中は騒がずマナーを守ること。
- 以下の学校は受験会場が高校ではないので注意しましょう。
 - ・ 愛知高校 → 愛知学院大学日進キャンパス
 - ・ 名城大学附属高校 → 名城大学
 - ・ 菊華高校 → 名古屋産業大学
- 健康であることがとても大切ですが、体調を崩したり、インフルエンザなどを発症してしまったりした場合は、早めにきちんと申し出ましょう(まずは中学校に)。別室受験や追試験をしてもらえる場合があります。
- 身なりについての校則を守ることはもちろん、身だしなみを整えていきましょう。心構えだけでなく、必要なものはこの週末に買ったり直したり、準備を早めに行いゆとりをもって試験に臨めるようにしましょう。出願のときの姿では不十分です。(裏面も参照)

《体験入学情報》

- 名東高等学校国際英語科(公立高校)
 - ・ 内容：英語スピーチコンテスト
 - ・ 日時：2月7日(土) 12時15分～受付 12時45分～開会式
 - ・ 自由に見学できます。興味のある人は当日直接会場に行き、参加してください。

○ とても残念だったこと・・・

私立一般出願の日に「考えが甘い！！」と強く感じました。身だしなみのことです。以下のことに自分があてはまらないか、振り返ってみてください。

- ・ 下駄箱でみなさんの靴を見ると、とてもカラフルでした。また、色は白のみでも「運動靴」とはとてもいけないものがいくつかありました。
- ・ 髪型と髪の色が不自然な生徒がいました。また、必要があると思われるのにしばっていない生徒がいました。
- ・ 袖から中のシャツや防寒具をわざと見せているとしか思えない生徒が普段から多いのですが、この日もほとんど改善は見られませんでした。

この日は学年で取り組んでいる「身だしなみ day」でもありました。受験(受検)に向けて、「校則を守る」ことにくわえて、見る人に良い印象を与える「身だしなみ」を心がけようという日です。大切な日に合わせて何度かくり返すことで、だんだんと良くなっていくことを期待していました。このときは、多くの生徒が自分の将来に関わる大切な「出願」に行く日に合わせることで、さらに意識が高まって取り組めると思っていました。また、服装などを具体的にどうするべきかということもいろいろな場面で示してきました。よく考えてほしいのは「身だしなみ」が整っているかどうかを決めるのは、自分自身ではなく、見る人だということです。



スカートが短く膝が見えている→「折っていない」、名札がない→「注文した」、髪の色が不自然→「一度染めたけど、その後には黒くした」、髪型が不自然→「整髪料はつけていない」、ベルトやかばんが派手→「他にもっていないから仕方ない」、靴が派手→「基調は白だからいい」、袖や首元のボタンがはずれている→「勝手にはずれる。わざとじゃない」、・・・

学校で注意を受けると、生徒の皆さんからはこんな言葉が返ってくるものが少なからずあります。しかし、外では(受験会場や地域の人からは)身だしなみが整っていなくても、注意をしてもらえませんが、理由を聞いてもらえることもほとんどありません。見たままの姿だけで判断されてしまいます。



派手な格好の人が、気配りができたり思いやりがあったりするとより良い印象につながることはありますし、「見た目だけで人物を判断してはいけない」のがとても大切だというのはその通りだと思います。しかし、どちらも「どんな格好をしていてもよい」場面での話ではないでしょうか。制服が正しく着ることができなければ「ルールが守れない」、相手に大切な話をしに行く場面や、式典の場面に派手な格好やだらしのない格好でいれば「場の雰囲気乱す」ということがその人の事実として残ってしまいます。

普段守れていない校則を出願の日だけ正し、翌日には戻っている生徒がいました。また、この出願の日には「試験の日はきちんとする」「高校に着いて入るときはちゃんと整えるから今はまだいい」という言葉も聞かれました。普段できていなことをうまく取り繕おうとしても**絶対に**うまくいきません。学校生活で最低限求められる校則は普段から守るのが当然ですし、身だしなみを(校則よりさらに)整える機会をつくるための「身だしなみ day」なので朝から一日、「身だしなみを整える」ようにしてもらえるものだと思っていました。

学ぶ雰囲気を創るために服装に関する校則があり、自分のわがままを通そうとせずそれを大切にもらうために、先生たちは守れていない生徒には注意をします。また、大切な場面では見る人にさらに良い印象を与えることができるように、「身だしなみ day」が設定されています。実際に大切な場面がやってきたのに多くの生徒にまるで伝わっていなかったように感じられて、1月27日の出願日はとても残念に思いました。

この週末は一般の試験に向けて、勉強だけでなく身だしなみについてもしっかりと振り返り、必要なものは直したり買ったり、今からでもできることをしてみませんか???